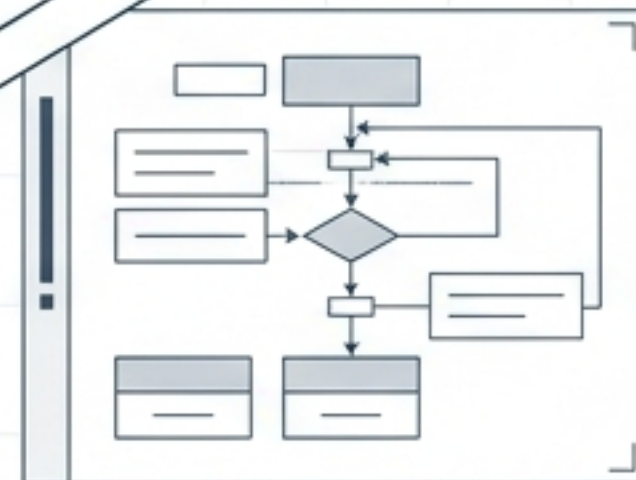
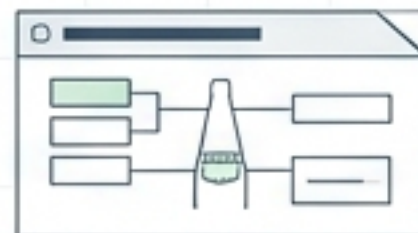
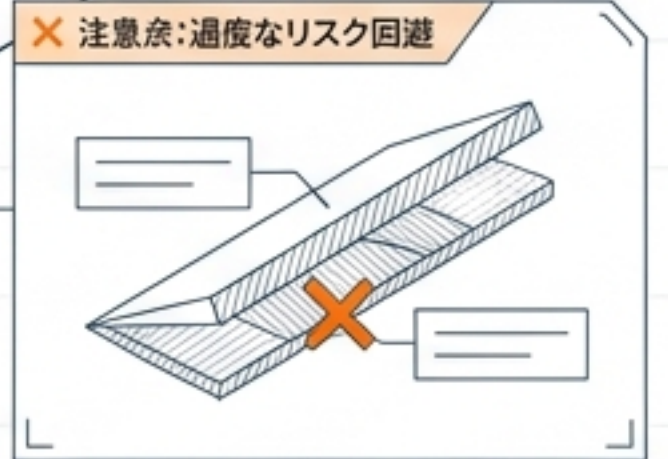
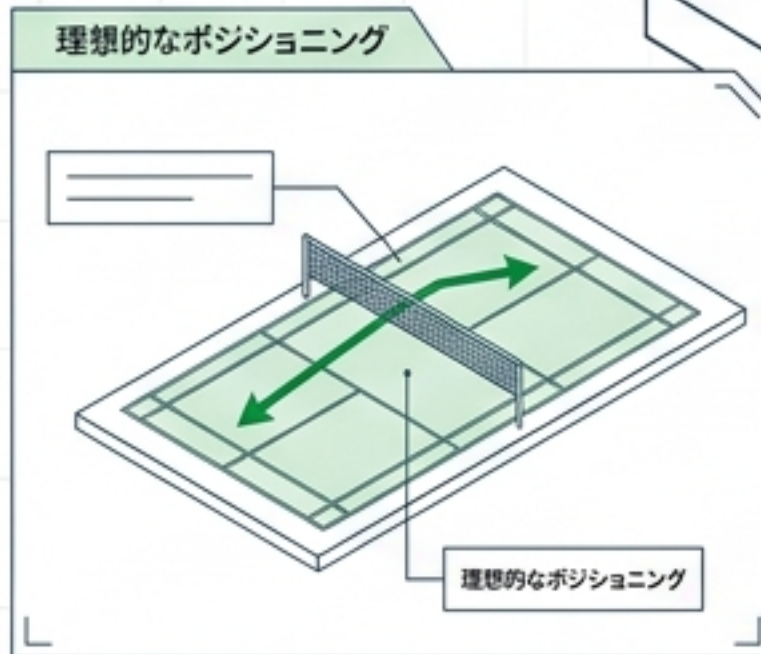
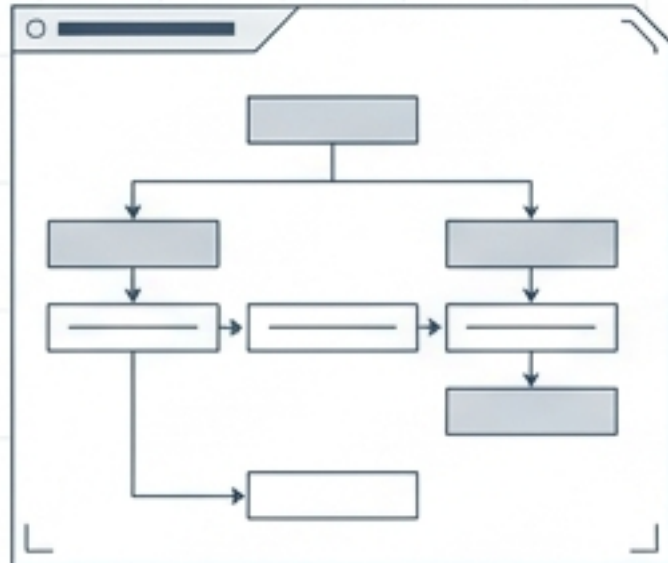


『いい人戦略』の罫を見抜く

勝った試合から「価値の再現性」を掴み取れ

▶ 6月23日オンライン教室の
全編動画を視聴する



1			
2			
3			
4			
5			
6			

表面的な調和か、真の誠実さか

表面的な調和（いい人戦略）

真の誠実さ（インテグリティ）

[目的]

目先の自己保身・波風を立てない

高潔さ（インテグリティ）の追求

[基本反応]

無意識の「そうなんです」

グループでの堂々とした議論

[コート上での行動]

判断を濁す・周囲に合わせる

明確な宣言と一貫した行動

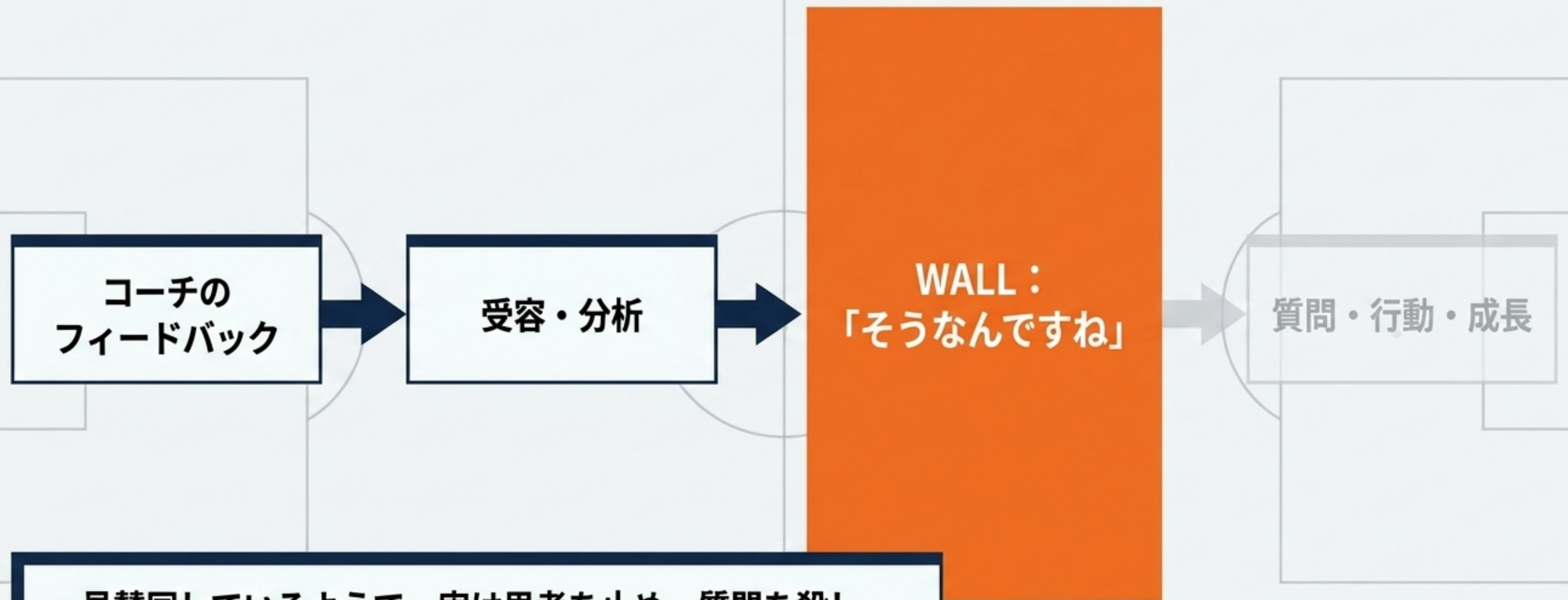
[長期的な結果]

チーム全体の信頼値が暴落する

強い信頼関係と価値の再現性が生まれる

特定の個人から嫌われる覚悟を持つことこそが、本当の「誠実さ」である。

思考を殺す魔法の腹黒ワード



一見賛同しているようで、実は思考を止め、質問を殺し、行動に移さないための「会話の終了ボタン」。この無意識の自己防衛が、学びの機会を完全に遮断する。

▶ この指摘の真意を動画で確認

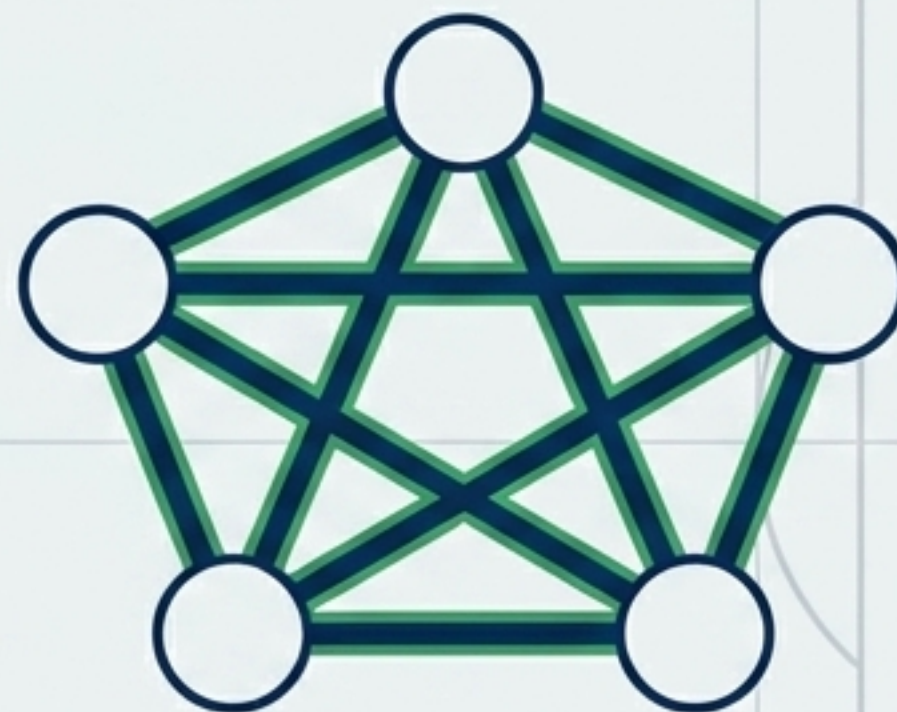
コミュニティの閉塞感を打ち破る「公開相談」

個人チャットでの「急な練習のお願い」



情報が閉ざされ、
他のメンバーに刺激を与えない。

グループLINEでの堂々とした発信

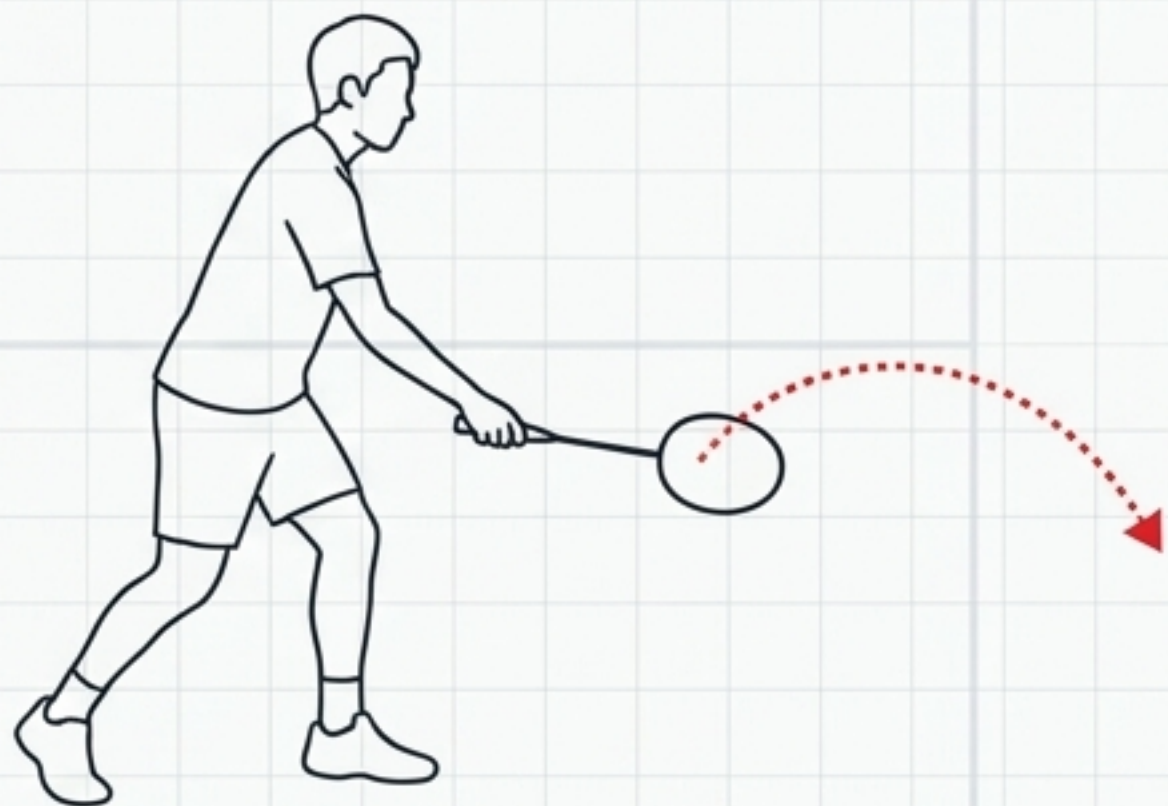


ジーコさんの実践例。「そういうのありなんだ！」
と全体が活性化するハイパフォーマンスな環境。

相談や要望をオープンにすることは、単なる連絡ではなく、
コミュニティ全体を巻き込み引き上げるための戦術である。

1秒解説：ラケットの下げ方が8割の配球を予測する

面を前に向けたまま下げる



我流。相手に次のショットを読まれやすく、
選択肢が制限される。

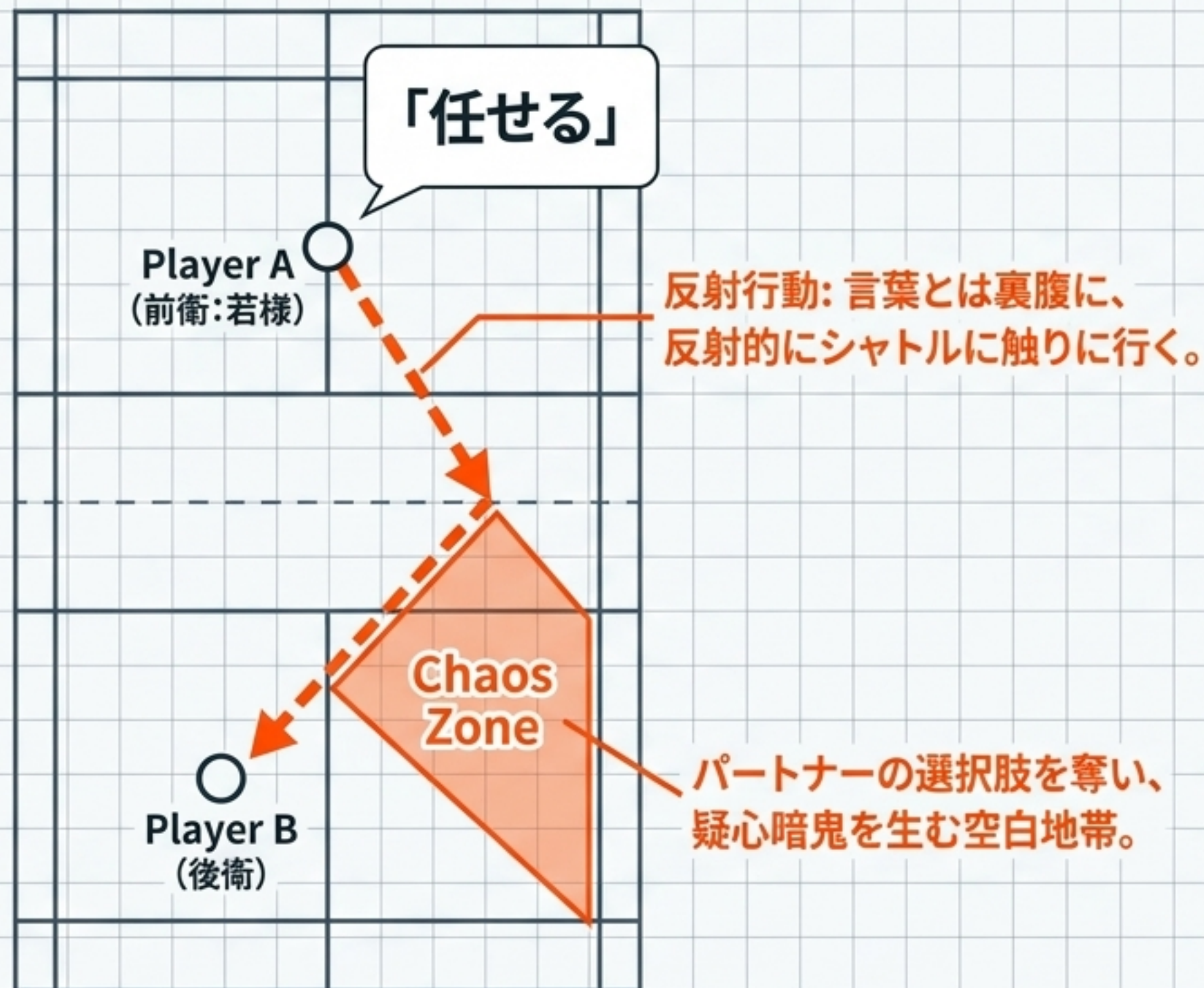
包丁を握るように縦にして下げる



▶ 鈴木・ジーコペアの限定公開解析映像を見る

超一流の基礎。ヘッドを寝かさなないことで
相手を迷わせ、配球予測を困難にする。

コートを崩壊させる「宣言の不一致」



ミスショットよりも恐ろしいのは「行動の一貫性の欠如」。宣言と違う動きは、ダブルスにおける最大の武器である「ペアの信頼」を著しく損ねる。

▶ 若様・藤城ペアのポジショニング解析を見る

メンタル戦術の裏側：相手を怒らせるな

恥ずかしさ / 焦り

怒り / 威圧

「助かった感」を演出し、相手に迷いと焦りを生じさせる（真の心理戦）。

相手の闘志にブーストをかけ、コントロール不可能な力を引き出す（極めて危険）。

鈴木選手のおたけびが相手を動揺させた直後、コーチが明かしたマニアックな極意。
「大声を上げて威圧すると、相手の感情が強い闘志に変換されてしまう」。

恐怖の『岡田さんバカ野郎モード』現象

状態: 気を抜いている状態



パフォーマンス: 攻略可能

状態: 怒りによるアクセル全開



パフォーマンス: どんな球でも執念で返してくる無敵状態

人間は怒ると強くなる。
イライラした人間は強烈な力を発揮する。

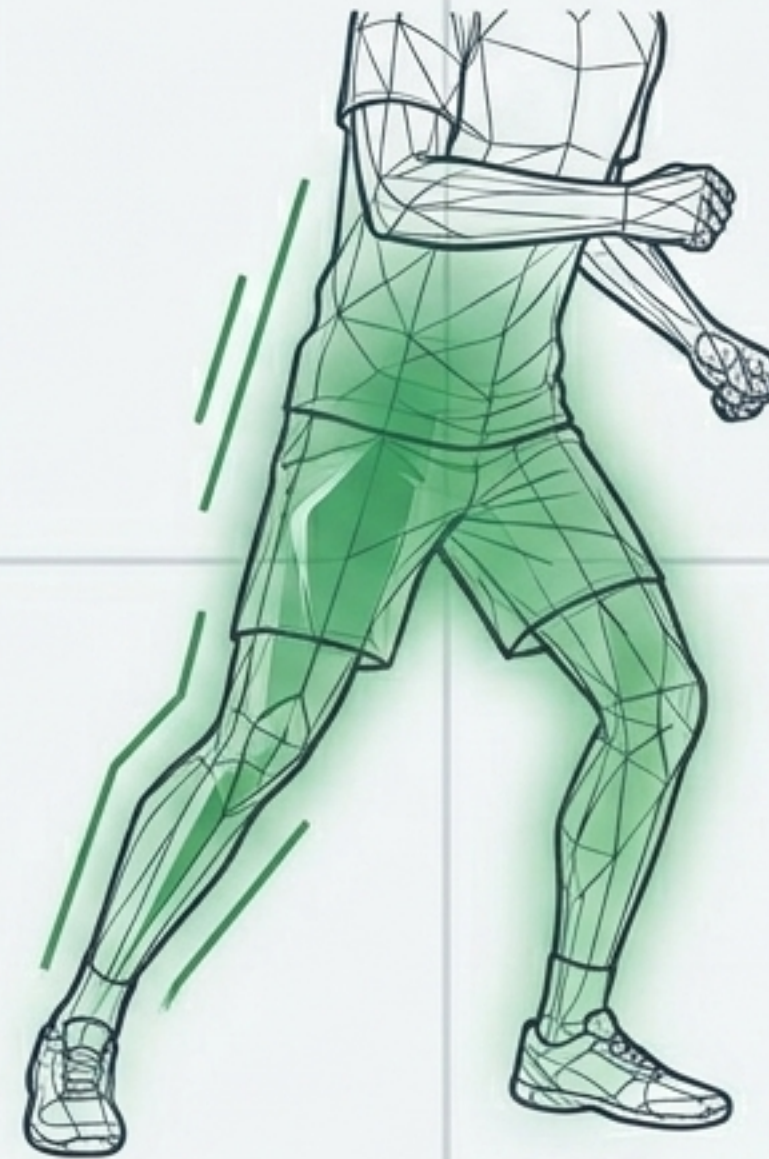
だからこそ、相手を威圧してこの「バカ野郎モード」のスイッチを押すことは、自ら戦況を悪化させる致命的なミスである。

▶ この心理戦の全貌を動画で確認

「スマッシュの脅威」というイニシアチブ



体を開いた状態。ミスを恐れ恐れて弱気になり、スマッシュを打たない構え。相手に先手（高い位置でのドロップやクリア）を叩かれる悪循環。



縦のスタンス。常にスマッシュを警戒させ続ける構え。相手のペースを遅らせ、主導権を握る。

力量差で勝っていても、心がいっぱいになり弱気な構えを見せた瞬間、試合のペースは完全に相手に支配される。

勝った試合の「仕分け」が価値の再現性を生む

勝った試合の映像と記憶



コーチングとメタ認知による厳密な分析



たまたまの運 /
相手のミス



狙い通りに再現できる
スキル・戦術



負けた試合の反省は簡単だ。

しかし、勝った試合から「何が良くて、何が変な運だったのか」を厳密に仕分けしなければ、真の実力にはならない。

この難題こそが、圧倒的な勝率の鍵である。

6月23日セッション：5つのコア・テイクアウェイ

1

嫌われる覚悟

「いい人戦略」を捨て、真の信頼関係を構築する。

2

拒絶ワードの排除

「そうなんですね」を禁句にし、思考停止を防ぐ。

3

宣言の一貫性

コート上での発言と行動を一致させ、カオスを防ぐ。

4

恥ずかしさの最大化

相手を怒らせず、焦りと恥ずかしさを誘う心理戦。

5

勝利の厳密な仕分け

勝った試合から「運」と「実力」を切り離す。

価値の再現性を身体に染み込ませるアクション・リスト

[] 今日の学びを、個人チャットに逃げずグループLINEやSNSでオープンにアウトプットしたか？

[] 「そうなんですね」という言葉を飲み込み、積極的な質問に変換したか？

[] ラケットを「包丁を握るように縦に下げる」超一流の基礎を素振りで確認したか？

[] 直近で勝った試合を思い出し、「運」と「スキル」に仕分けるノートを書いたか？

[] 眠気を「風邪のサイン」と捉え、明日のパフォーマンスのためにすぐ布団に入る決断をしたか？

インプットの快感で終わらせず、行動という最高のアウトプットで応えよ。

圧倒的なアウトプットへの執念



**誰もいなかったら、
1人解説しています。**

— PHOENIX愛知 コーチ (1:19:35)

日本最高峰の育成機関を支えるのは、この凄まじい執念とメタ認知の深さだ。
「そうなんですね」と受け流す傍観者になるのは、今日で終わりにしよう。

次のステップは、あなたの行動のみ。

限定公開の動画には、文字では伝えきれない「秒単位の戦術」と「心理戦のリアル」が記録されています。
インプットで満足せず、今すぐ動画を確認して「仕分け」を開始してください。

▶ **今すぐオンライン教室の全編動画を視聴する**